

# 育成センター情報

令和3年 9月16日(木)  
 【倉敷市青少年育成センター】  
 倉敷市西中新田640番地  
 TEL 426-3861 / FAX 421-6018

秋晴の候、平素から青少年の健全育成にご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。市立小・中学校の夏休み延長など、新型コロナウイルス感染症の影響は今年度も大きく、岡山県に「まん延防止等重点措置」が適用された8月20日以降、補導活動を一時中断しています(8月27日「岡山県緊急事態宣言」発令)。

また、学校では、運動会(体育会)や学芸会(文化祭)などの学校行事、修学旅行などの宿泊行事でも対応に苦慮する状況が続いています。こうした中、倉敷市青少年育成センターでの相談活動において、少なからず内容に変化が見えてきています。

## いつも積極的な補導活動“ありがとうございます”

計画より1か月遅れて始まった「夜間合同補導」及び「中学校ブロック補導」では、少年補導委員の皆様方の積極的なご参加に心より感謝申し上げます。また、高等学校の先生方におかれましては、7月6日に実施の「第2回列車補導」でもご尽力いただき、ありがとうございました。

なお、9月13日から9月30日まで、岡山県は「まん延防止等重点措置」(倉敷市など)に移行しましたが、今後の補導活動についての変更はありません。詳細は、8月19日付け文書をご覧ください。今後とも、倉敷市の青少年健全育成に、お力添えいただきますようお願い申し上げます。



夜市などの合同補導(“玉島まつり”中止のため、通常の夜間合同補導を実施した/R3.8.7)

**【列車補導】**「まん延防止等重点措置」が延長されたり、「緊急事態宣言」が再発令されたりしたときは、その適用の期間が10月5日(火)を含む場合、第4回「広域列車補導」を中止します。ただし、それ以外の場合は、第4回「広域列車補導」を予定どおり行います。

**【合同補導】【中学校ブロック補導】** 倉敷市内の感染状況を考慮し、「まん延防止等重点措置」期間中の9月30日(木)まで中止します。10月1日(金)から補導活動を再開します。ただし、「まん延防止等重点措置」が延長されたり、「緊急事態宣言」が再発令されたりしたときは、補導活動を引き続き中止とします。

各中学校ブロック班長の皆様へお願い

「中学校ブロックの補導」については、報償費との関係上、中止となった回を2月上旬までを目途とし、無理のない範囲で、再度日時等を決定していただきたいと考えています。

## 夏季休業中の倉敷市内の現状(7~8月)

倉敷市内全体の7月と8月の補導件数の合計は、98件(昨年度同期210件、以下同)でした。補導件数が大幅に減少した主な要因として、今年度は夏休み期間を延長したことで、登下校などで子どもたちと出会う機会が著しく減ったこと、8月中旬以降の天候不順などが挙げられます。その背景には、コロナ下における子どもたちの外出自粛なども、少なからず影響していたのではないかと考えられます。

また、補導件数のうち、喫煙(電子タバコを含む)行為が15件を占め、過半数が有職・無職の少年でした。学識別にみると、小学生13件(19件)、中学生36件(58件)、高校生40件(123件)、その他学識及び有職・無職少年9件(10件)でした。

地区別の補導件数は、倉敷地区30件(61件)、水島地区10件(17件)、児島地区34件(57件)、玉島地区24件(75件)でした。主な補導場所は、アリオ倉敷などの大型店舗をはじめとする量販店、JR倉敷駅などの駅周辺のほか、児島大島海岸や玉島沙美海岸などでした。

今月に入って、補導員が不審な自転車を見かけて学校に連絡を取ると、「生徒が〇〇頃に△△で盗難被害にあっていた」というケースが増加しています。この場合の多くは、何らかの理由で自転車に鍵をかけていなかったことがほとんどでした。



## コロナ下での相談活動から

倉敷市青少年育成センターでは、電話相談、来所相談、メール相談を受け付けており、総計は毎年800件ほどで推移しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態措置により、来所相談を一定期間控えたことから、昨年度と比べて40件減少しています(右表)。

一方で、電話相談は増えており、学業・仕事、健康問題といった項目での増加が顕著です。中でも不登校の場合は、相談が進んでいくにつれ、いくつかの複合的な要素を含んでいることが多いです。例えば、親子関係や家庭内暴力、進路問題、子ども自身の特性や考え方などです。また、子どものネット依存傾向に悩む保護者からの相談も増えてきました。被害や加害といった立場があるわけではなく、障害や疾患があるわけでもない場合、相談先がわからないまま、保護者が子どもとのやり取りに疲れ果てて相談に至るケースが目立ちます。この頃には、親子関係がすでに悪化しており、その関係修復に向けての相談が話の中心になってきます。

メール相談は、人間関係、学業・仕事、家族問題といった項目で増加しています。また、46件中21件が保護者からのメールとなっており、昨年度と比べ、大幅に増えています(昨年度は29件中1件)。メール相談は、スマホなどのSNS機能(LINE相談など)を使った相談と比べ、アクセスの手軽さやタイムリーな返信など、そのアクセシビリティ(利便性)については多少劣るところがあるかもしれません。しかし、忙しい保護者の方がゆっくりと問題に向き合えることから、メール相談が生活のスタイルに合うと言われる方も多いという現状もあります。また、相談者にとって匿名性が高いこともあり、状況によっては踏み込んだ内容まで相談者とやり取りができることから、相談者自身が自ら考え、問題の解決に向けて“力”を身に付けていることを実感することもあります。

コロナ下での生活が長引く中、人間関係の希薄化や悪化、分断などが問題視されるようになってきました。子どもも大人も、知らず知らずのうちにストレスが溜まっていき、どこかにそのはけ口を求めたり、何をどうしたらよいのか制御不能になったりすることがあります。それが個々に形を変えながら、今、問題として表面化しているように感じています。

令和3年度 相談内容別(延べ)件数(4~8月累計)

| 相談内容別 | 相談種別   | 電話       | 来所     | メール    | 計        |
|-------|--------|----------|--------|--------|----------|
| 人間関係  | 異性関係   | 1(0)     | 0(0)   | 4(0)   | 5(0)     |
|       | 対人関係   | 10(8)    | 3(0)   | 17(9)  | 30(17)   |
|       | いじめ    | 1(5)     | 0(0)   | 0(0)   | 1(5)     |
|       | ひきこもり  | 2(6)     | 0(0)   | 0(0)   | 2(6)     |
| 学業・仕事 | 進路     | 9(5)     | 10(30) | 6(7)   | 25(42)   |
|       | 不登校    | 13(3)    | 0(5)   | 8(0)   | 21(8)    |
|       | 仕事     | 49(25)   | 0(3)   | 0(0)   | 49(28)   |
| 健康問題  | 身体的    | 21(7)    | 0(0)   | 2(0)   | 23(7)    |
|       | 精神的    | 16(10)   | 0(1)   | 2(5)   | 18(16)   |
|       | 性      | 7(11)    | 0(0)   | 0(0)   | 7(11)    |
| 家族問題  | 家族関係   | 35(30)   | 1(14)  | 2(0)   | 38(44)   |
|       | 子育て    | 9(21)    | 3(5)   | 3(1)   | 15(27)   |
| 非行問題  | 不良行為等  | 0(0)     | 0(1)   | 0(0)   | 0(1)     |
|       | 不純異性交遊 | 0(2)     | 0(0)   | 0(0)   | 0(2)     |
|       | 被害     | 0(0)     | 0(0)   | 0(0)   | 0(0)     |
| 虐待    | 0(1)   | 0(0)     | 0(0)   | 0(1)   |          |
| 問い合わせ | 0(2)   | 0(0)     | 0(1)   | 0(3)   |          |
| その他   | 9(19)  | 2(0)     | 2(6)   | 13(25) |          |
| 計     |        | 182(155) | 19(59) | 46(29) | 247(243) |

表中の( )内の数字は、昨年度同期を示す

